

# 地域連携協働NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所  
総務社会教育課

## 「地域連携全体計画」作成の視点 ~学校教育目標との整合性を図る~

今年度も教育課程編成の時期が迫ってきました。昨年度、域内のほとんどの学校において「地域連携全体計画」及び「年間活動計画」の作成が進んでいます。それに基づいて地域と学校が連携した教育活動が展開され、教育活動の充実につながってきています。次年度、より充実した活動をするため、両計画の見直しを図ってください。そのため計画の作成の視点について改めてまとめてみました。

今回は特に「地域連携全体計画」についてまとめてみました（「年間活動計画」については次回）。以下に中学校版の「全体計画例」を掲載しましたので、どうぞ参考にしてください。

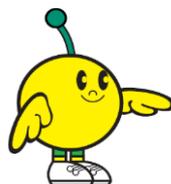
ちなみに「地域連携全体計画」を作成するメリットは、下記のとおりです。

学校の教育目標を具現化するために計画を作成し、連携・協働活動がどう関わっているのかを明確にすることで、各教科等における連携・協働活動が、学校の教育目標の達成につながっていることを確認することができ、指導の幅も広がる。

### 〈地域連携全体計画及び年間活動計画作成の意義〉

「全体計画」及び「年間計画」が整備されることで…

- 学校の教育目標と地域の連携・協働の取組の関わりが明確になり、整合性が図られる。
- 各教科等における地域との連携・協働の目的が明確になり、カリキュラム・マネジメントの確立につながる。
- 年間を通した地域との連携・協働を計画的かつ効果的に進めることができる。



### 地域連携全体計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本国憲法</li> <li>○教育基本法</li> <li>○学習指導要領</li> <li>○福島県教育委員会重点施策</li> <li>○▲▲教育委員会教育基本方針</li> </ul>	<p><b>学校教育目標</b></p> <p>郷土を愛し、自立への高い志をもち、可能性に挑戦する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の実態</li> <li>○地球の実態</li> <li>○学校、家庭、地域の願い</li> </ul>
<p><b>地域連携で目指す児童像</b></p> <p>○我が町を愛し、我が町に誇りを持てる生徒</p>	<p><b>地域連携推進目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な立場の人と関わることで、自分や友達の様子や個性に気づき、自分の生活や周りの環境に関心をもたせる。</li> <li>○仕事・職業についてよく考え、夢や希望を抱くとともに、そこに向かって努力する態度を育てる。</li> </ul>	<p><b>学校課題の推進</b></p> <p>○生徒一人一人の自己肯定感を高める指導・援助の工夫～授業と教育相談との連携を通して～</p>
<p><b>生かしたい力</b></p>		
<p><b>地域の人材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア、地域コーディネーター等の活動</li> <li>・学習支援：長期休業中の学習支援</li> <li>・環境支援：交通安全指導、秋・図書室整備等</li> <li>・各関係機関・企業等との連携</li> <li>・出前講座</li> <li>・ゲストティーチャーを活用した授業</li> </ul>	<p><b>地域の資源</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した校外活動</li> <li>・幼児・高齢者との交流、小・中学校間交流</li> <li>・社会教育施設の活用</li> <li>・公民館がもつ地域情報の活用</li> <li>・図書館等での調べ学習や体験学習</li> </ul>	

〈視点1〉地域連携でめざす生徒像が学校の教育目標との関わりで作成されている。

〈視点2〉各教科・領域における努力点及び具体策を明確にすることで、カリキュラム・マネジメントの確立につながる。

地域連携全体計画等を作成し、教育課程に位置付けることで計画的・組織的・継続的に地域との連携・協働した取組を推進していくことができます。県社会教育課のHPには、その様式集があり、ダウンロードして活用することができますよ。



~~~~~中略~~~~~

| 努力点及び具体策〔各教科・領域等〕 |                                                                                                                                          |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各教科               | ・学習内容に関連したゲストティーチャーを迎え、専門的な視点で支援していただく。<br>・各教科で支援が必要とされることを集約する。                                                                        |
| 道徳                | ・価値観の高い経験をされた先輩を選出し、講演依頼をする。<br>・内容項目に合った体験談を聞いたり、講演者とのQ&Aなどで価値を高める場面を作ったりする。                                                            |
| 特別活動              | ・〔学級活動〕身近にあるボランティア活動について考える。<br>・〔生徒会活動〕公民館の清掃ボランティア等を行う。<br>・〔学校行事〕キャリア教育講演会、町の運動会・文化祭への参加                                              |
| 総合的な学習の時間         | ・〔1学年〕郷土についての調べ学習や体験活動を通して、強度を愛する気持ちを育てる。<br>・〔2学年〕地域での職場体験等を通して、働くことの意義や目的の理解、望ましい勤労観を育てる。<br>・〔3学年〕大都市の産業や文化を体験する活動を通して、町の良さや魅力について学ぶ。 |